

民間取組等と連携した自然環境保全 エリアについての事例



地域自治によって維持されている湧水豊富なバイカモ生息地

兵庫県立人と自然の博物館
三橋弘宗

丹波地域の取り組み（自治振興会ベース）



ホトケドジョウの生息地保全



クリンソウの保全とツーリズム



新設ミュージアムに隣接した里山林整備



セツブンソウ祭りと生息地保全

豊岡市の取り組み（コウノトリ関連事業）



農業関係者による「江」の設置



コウノトリ育む農法



耕作放棄地のビオトープ化



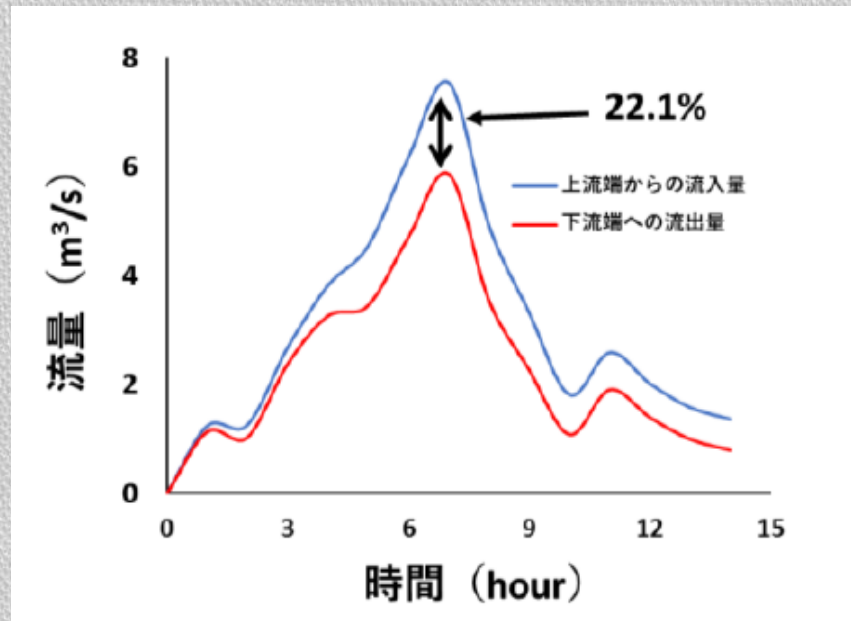
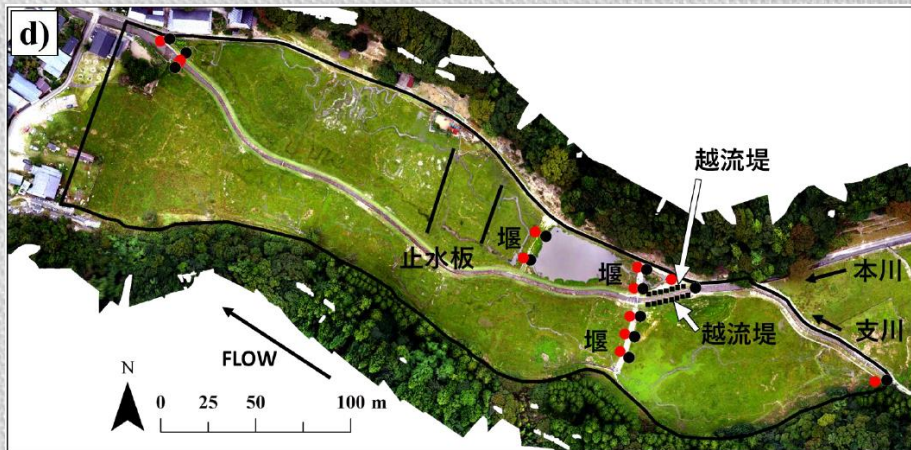
耕作放棄地を活かした自然再生教室

小さな自然再生の大きな役割：豊岡市田結地区の例



- 大出水のときに、水田が遊水地として機能する
- 耕作放棄地を湿地として維持して、生態系保全に活用

ECO-DRR：洪水のときに田んぼへと水をためる

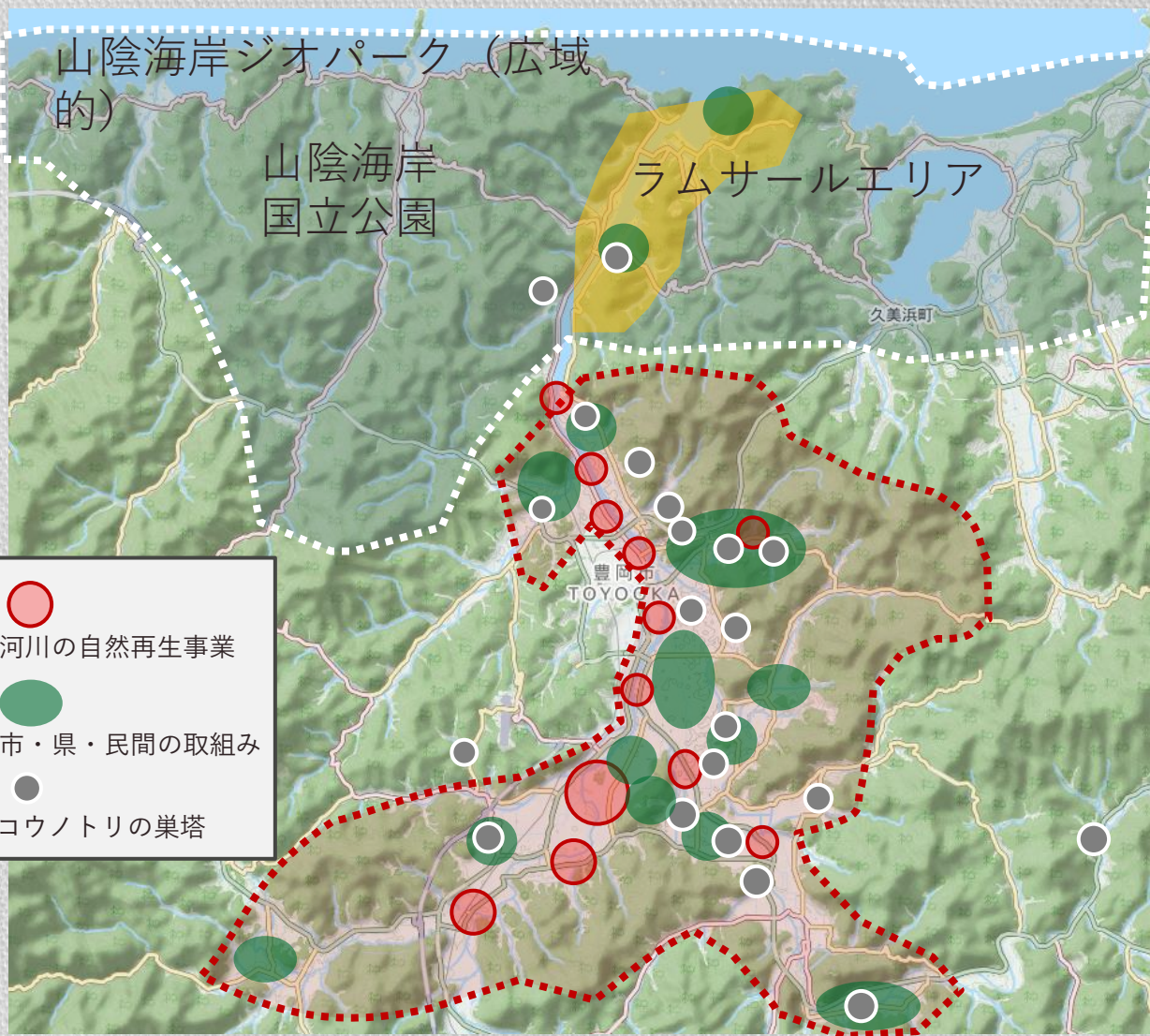


治水への効果を計算する
と・・・

洪水ピークの約22%をカットする (推定値)

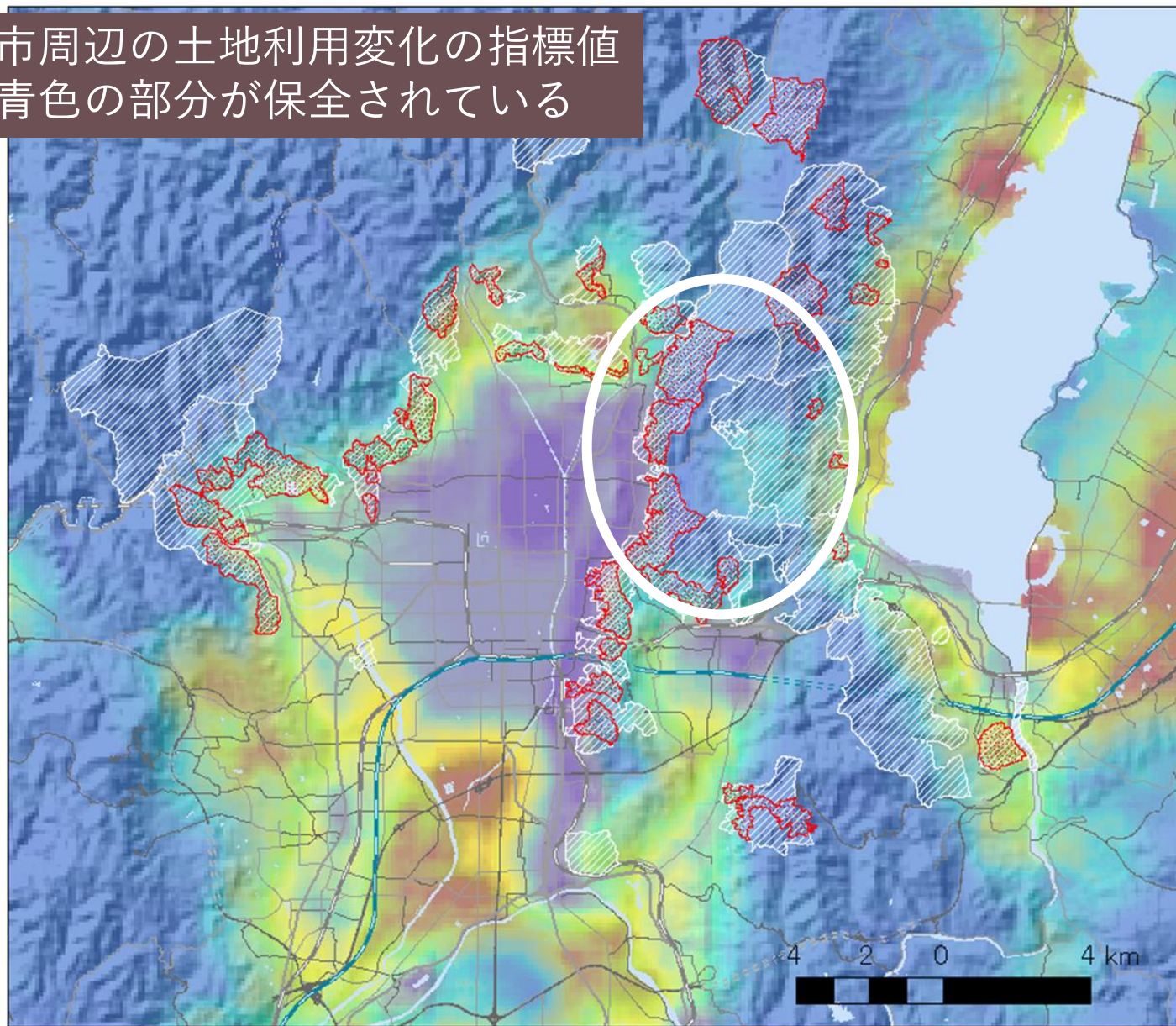
今井・三橋・鎌田・武藤 (2020) 普通河川周辺の耕作放棄水田
が有する洪水一時貯留機能に関する基礎的検討
土木学会論文集B1(水工学) Vol.76, No.2, I_793-I_798

円山川水系自然再生事業と豊岡市の取り組み

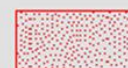


景観関連法、文化財関係法のカバー

京都市周辺の土地利用変化の指標値
→青色の部分が保全されている



SPAHL



PAHL



index

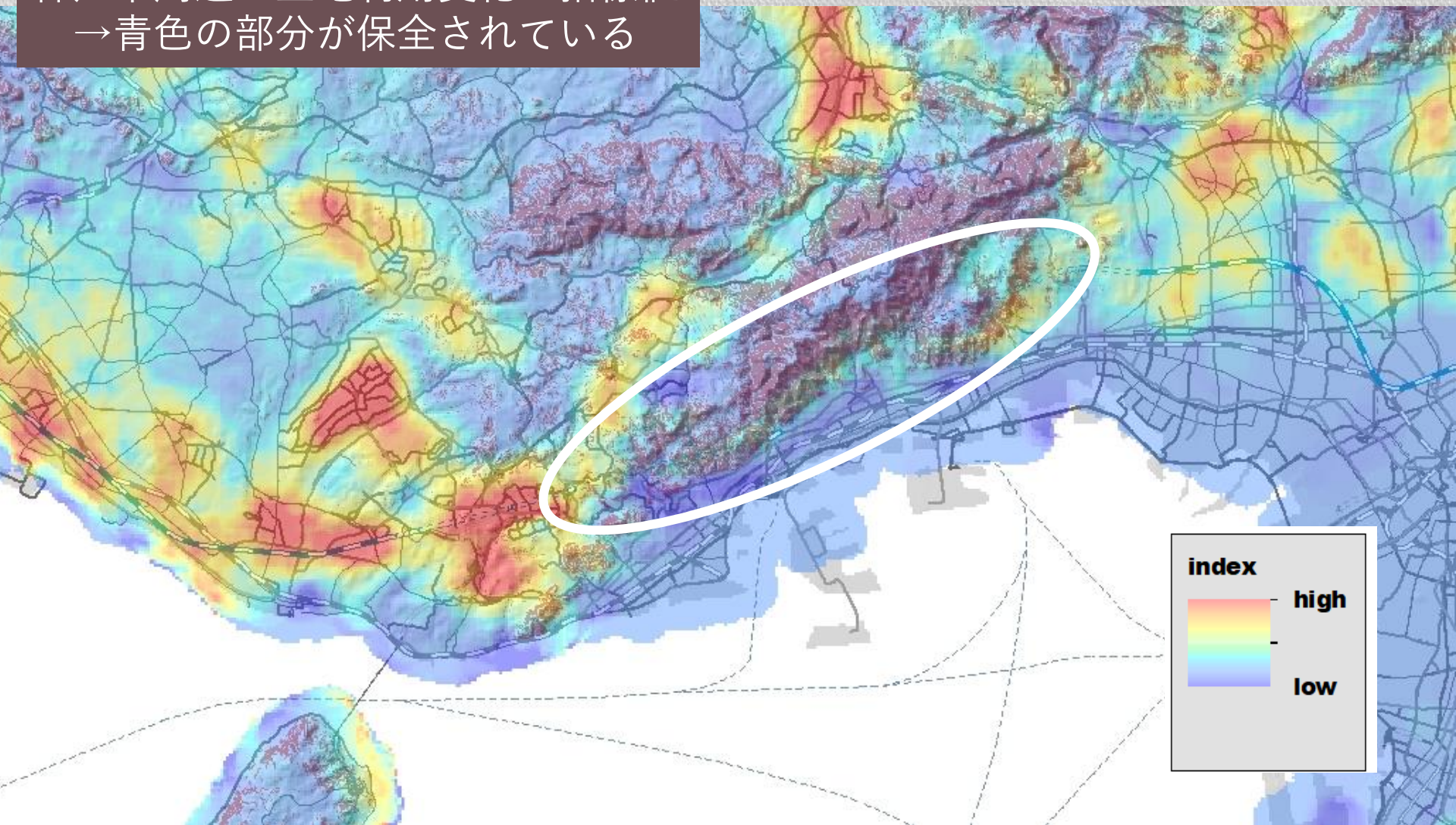


high

low

斜面防災、砂防、国立公園との関係

神戸市周辺の土地利用変化の指標値
→青色の部分が保全されている



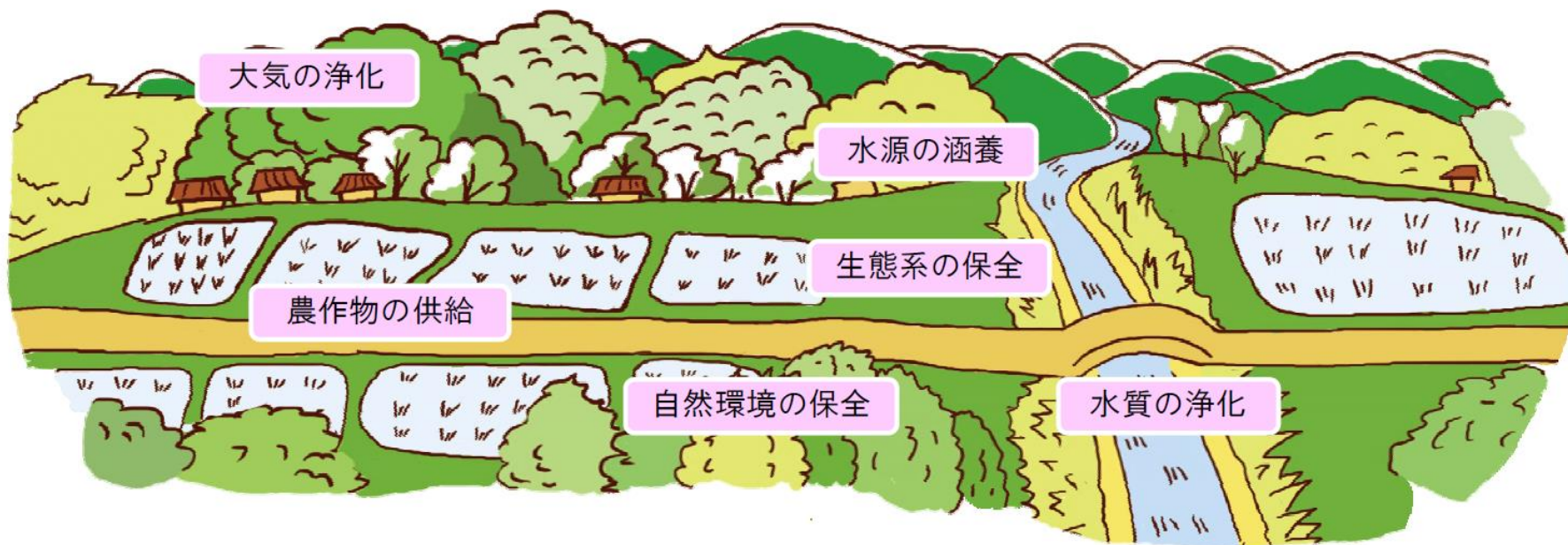
八王子ビジョン2022（平成25年度から平成34年度まで）

目標設定

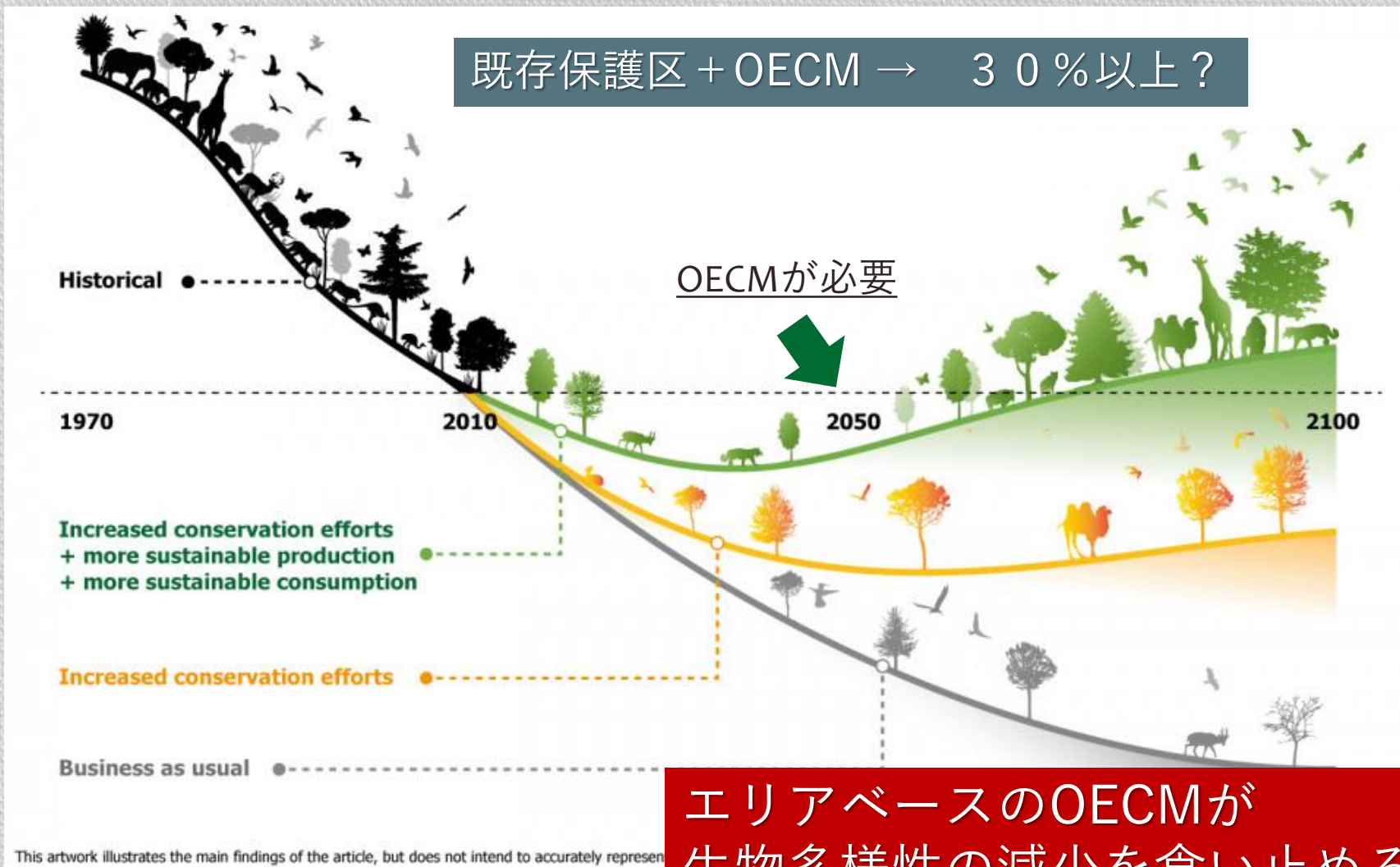
施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成29年度	平成34年度
保全の対象とした緑地面積	149.1ha (平成23年度)	160ha	170ha

みどりの保全への取組の度合いをはかる指標です。緑地保護地区の指定などにより保全した緑地の面積をこれまでの取組を踏まえ、今後5年ごとに約10haずつ増加させることを目標とします。

■ 里山の機能



国際目標の視点から



エリアベースのOECMが
生物多様性の減少を食い止める

プレスリリース用イラストレーション

Leclère, D., Obersteiner, M., Barrett, M. *et al.* Bending the curve of terrestrial biodiversity needs an integrated strategy. *Nature* **585**, 551–556 (2020).